

一般社団法人 地図協会

令和 7 年度(2025 年度) 事業計画

自令和7年4月1日～ 至令和 8年3月31日

はじめに

2024 年 4 月に施行された、測量法に基づき国土交通大臣が定める「測量に関する長期計画」では、測量及び地図に係る DX(デジタルトランスフォーメーション)化の促進が全面的に謳われ、紙地図等のアナログからの脱却が窺える内容となっている。また、国土地理院が開催する「測量行政懇談会」では、地形図等による著作権財源に代わるとしき地理空間情報の有償二次利用問題等の議論が行われている。こうした状況を踏まえるに、現行の紙の地形図等の複製頒布は、2028 年度あたりに何らかの大きな転換点を迎える可能性があるものと思料される。

こうした状況を踏まえ、昨年度地図協会では、現行の複製頒布が大きな転換点を迎える可能性があることを『2028 年問題』と称し、その準備及び対応に万全を期すこととした。

今年度は、2028 年問題対応として、地形図利活用ネットワークの構築に伴う新規賛助会員獲得による財政基盤の強化のほか、複製頒布に代わる地形図の新しい販売・普及システムの構築に向けた関係機関との意見交換を行うとともに、こども(学校図書館)とおとな(公共図書館)を拠点とした地図による地域や人々をつなぐ生涯学習の環境整備にも注力し、これらの活動で多様な価値観を尊重する社会づくりに貢献する。

I 地図の利用・普及および地図情報の発展に資する事業(実施事業)

1)「測量の日」関連事業

国土交通省では、「測量法」の公布日である毎年 6 月 3 日を「測量の日」と定め、測量の意義や重要性に対する国民の理解と関心を一層高めることを目的に、普及・啓発のための広範な運動を展開している。地図協会は、例年どおり、測量・地図に関する情報や知識を広く国民に普及・啓発するための「測量の日」関連イベントに参加する。

①「くらしと測量・地図展」

地図協会は、『「測量の日」東京地区実行委員会(国土地理院関東地方測量部及び地図協会を含む関係団体で構成)』が主催する「くらしと測量・地図展」に参加・出展する。

開催日:2025 年 6 月 4 日(水)～6 月 6 日(金)

開催場所:新宿駅西口広場イベントコーナー

テーマ:「楽しみながら地図を読み、大地を測る ー変わりゆく新宿ー」

地図協会はテーマに即したパネル展示を企画・製作するとともに、期間中、説明員を配置し、地形図等の基本図の周知及び教育現場での地図活用等を促す。

②「地形図等利活用シンポジウム」

令和 6 年度図書館振興財団助成事業「地形図のある学校図書館の創設(地図協会と日本地図センターによる共同運営)」では、日比谷図書文化館 日比谷コンベンションホール(大ホ

ール)にて、学校図書館関係者等を対象とした「地形図等利活用シンポジウム」を初開催した。令和7年度も地図協会は当該シンポジウムを開催する予定である。

開催日:2026 年 2 月頃

開催場所:日比谷図書文化館 日比谷コンベンションホール(大ホール) 予定

テーマ:「学校図書館への地形図等の普及と利活用に係るネットワーク構築」

また、地図協会は、当該シンポジウムに役員又は会員を講師として派遣し、地形図等の基本図の周知及び教育現場での地図活用等に関する講演を行う予定である。

2)「地図展」の開催

「地図展」は、広く国民に地図を通して国土や地域について理解と親しみを深めていただくとともに、より一層地図に親しみ、地図を利用していただくことを目的に、毎年一回全国の主要都市で開催されている。

今年度も例年どおり、一般財団法人日本地図センター及び地図協会を含む関係7団体によって構成される「地図展推進協議会」主催により、地図展 2025 がさいたま市での開催が決定した。なお、日程や会場などの詳細は未定である。

3)児童生徒地図作品展の後援・表彰及び地図教育支援活動の推進

国土地理院及び地図協会会員の要請を受け、地域文化事業の継承と地図理解の向上のため、地方自治体等が開催する児童生徒地図作品展に対し後援及び表彰を行う。また、必要な地図教育支援活動を積極的に推進する。今年度についても、優秀な作品に対し、一般社団法人地図協会賞を贈呈することとする。

4)一般向けの情報発信

広く一般に対し、国土地理院発行の基本図(地形図、地勢図等)及び数値地図等の新刊情報を月ごとにまとめ、地図協会ホームページにて、「新刊刊行」として情報提供する。また、全国の地図販売店の紹介、測量の日関連イベント等の情報を同じくホームページにて公開する。

5)会員向けの情報皆様へ専用ホームページ「協会たより」の発信

地図協会会員に対し、「会員専用ページ」を通じ、会員間の情報交換や地図に関する様々な情報提供を行うとともに、3 か月先までの新刊刊行予定や協会活動状況等の情報提供を行う。

6)その他ホームページの機能拡充

その他、会員及び地図購入者等の「情報提供の場」として活用されることを目的に、地図協会ホームページの機能拡充を図る。本年度は、図書館振興財団助成事業「地形図のある学校図書館の創設(地図協会と日本地図センターによる共同運営)」の一環として、制作した「地形図等セット利活用ガイドンス」や「旧版・新刊地形図の地図記号の解説」「地形図等セット利活用 模範事例集」を地図協会ホームページに掲載する予定である。

7)感謝状の贈呈

昨年度に引き続き、地図協会会員の中から、長年にわたり地図の普及・啓蒙にご尽力いただいた

た方々を国土地理院に推薦させていただき、国土地理院長から敬意を込めた感謝状を贈呈いただく。

8) 政府刊行地図等の販売支援

政府刊行地図等の元売捌を担う「株式会社ぶよお堂」及び「内外地図株式会社」の二社のほか、全国の政府刊行地図販売店による販売に対する側面支援のため、政府刊行地図の定価等に関する課題や流通効率化等に係る要望事項等の業界意見を取りまとめ、関係行政機関等に具申する。また、政府刊行地図等の普及活動を積極的に推進する。

今年度は特に、前述の 2028 年問題対応の一環として、複製頒布に代わる今後の地形図の新しい販売・普及システムについて国土地理院等と意見交換を行い、業界意見を取り入れた新しい提案等の実現に取り組む。

Ⅱ 政府刊行地図等の販売に関する事業(その他事業)

1) 販売機能の拡充に関する事業

前述の 2028 年問題への準備及び対応の一環として、政府刊行地図等の販売に係る機能を拡充させ、地図協会としての財政基盤を強化させておく必要がある。

① ネットワークの構築と賛助会員の獲得

サブスクリプションサービス等を視野に入れた、地形図等の利活用に関する新しいネットワークを構築し、学校教育・図書館・防災・デジタル地図・アウトドア等の分野から、個人又は法人の新規賛助会員の獲得を目指す。

② 有償講習会等の実施

学校教育・図書館・防災・デジタル地図・アウトドア等の分野からの依頼に基づき、地形図等の利活用等に関する有償講習会を開催する。

2) 政府刊行地図等の販売促進

政府刊行地図等の販売促進事業は、地図協会の会員を直接支援する主力事業である。関係行政機関、関係団体及び地図協会会員との連携を引き続き強化し、なお一層の販売促進や販路の拡大に努める。特に、学校教育現場や公共図書館における政府刊行地図等の利活用の促進を目指し、以下の取り組みに注力する。

① 「地形図のある学校図書館の創設」事業の推進

公益財団法人図書館振興財団の助成は昨年度で終了となったが引き続き、今年度も関係機関と連携しながら、本事業を推進し、学校図書館における地形図等の常備化を目指す。ネットワーク構築やシンポジウムの継続等によりブラッシュアップを行ない、今後の地形図等の全国学校図書館普及に向け文部科学省からの予算獲得の実現に向けたロビイング活動を展開する。

② 「公共図書館向け地形図等セット」の企画・開発準備

昨年度の「地形図の利活用シンポジウム」や中央図書館を対象としたアンケート調査か

ら「調べものをするうえで地図は重要なもの図書館の機能向上に繋がる資料だが使いにくい。」「1枚物の収納には専用の地図棚が必要となるが100万円を超える費用が必要となる。」「統計調査の社会教育調査の対象になっていない為に実態がわからない。図書館協会ですら全国の公共図書館のどこに地形図が所蔵されているのか把握できていない。」これらの問題点を解消して地形図を公共図書館で利用可能にするため、今年度地図協会は、関係団体及び地図協会会員と連携し、「公共図書館向け地形図等セット」の企画・開発のための準備を進め公共図書館での地形図をベースとした「防災教育＋地域の歴史・資源＋市民参加型マップ」を組み合わせ、地域への愛着と防災力を同時に育てる参加型プログラムの展開を目指す。

2)「巡検の旅」の開催又は代替イベントに関する活動

地図協会では、地図等の普及啓蒙及び地図と実際との検証等を目的として、昭和 49 年度（1974 年）から、「巡検の旅」事業を展開してきた。しかしながら、新型コロナウイルス感染防止対策の観点から、令和 4 年度以降は見送りとなっている。

今年度地図協会は、「巡検の旅」の再開、又はそれに代わるイベントについて検討を進める。

3)その他この法人の目的を達成するために必要な事業(受託)

国土地理院や関係団体等から各種事業を受託するための活動を行う。

4)定例の執行理事会等の開催

関係理事及び監事を招集し、毎月第 2 週火曜日に定例会議を開催し、事務局の運営を行う。

以上